

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
沖田 康司 ・ 西村 伊知恵			

講義概要	精神、知的・発達障害、難病などの症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解した上で、障害のある人やその介護者を含めた生活支援を行うための根拠となる知識を習得する。また、障害にある人の特性をふまえたアセスメントを行い、自立に向けた支援を行うために、地域におけるサポート体制や他職種協働のあり方、家族への支援についても学習する。
授業計画	<p>1 家族支援 その① 家族支援の視点 家族支援は家族介護の肩代わり支援としてとられやすい。 本人支援、家族支援のあり方について学ぶ。</p> <p>2 家族支援 その② 家族支援のあり方 アメリカ、カナダでは「レスパイトサービス」として家族支援を実施している。 その取り組みを学びながら、今後の家族支援のあり方を考える。</p> <p>3 他職種との連携 介護福祉士以外の福祉職および保健医療職種等の連携の必要性を理解する。</p> <p>4 精神障害についての基礎知識 精神障害の定義、精神障害者の特性・分類。</p> <p>5 主な精神障害 1 統合失調症、アルコール依存症。</p> <p>6 主な精神障害 2 気分障害（躁うつ病）、薬物依存症。</p> <p>7 主な精神障害 3 てんかん、神経症障害。</p> <p>8 医学的配慮と生活介護 幻覚・幻聴・不安感、身体的症状。</p> <p>9 精神障害者の福祉 精神障害のおかれている現状。</p> <p>10 生活の理解と介護の留意点 生活上の障害特徴、当事者主体の尊重、危機場面。</p> <p>11 重複障害のある人の介護 重複障害とは何か。</p> <p>12 肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活 特徴と介護の留意点。</p> <p>13 知的障害、発達障害のある人の生活 特徴と介護の留意点。</p> <p>14 難病のある人の生活 特徴と介護の留意点。</p> <p>15 障害のある人に対する介護 基本視点、個別支援、社会資源の活用。</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①「その人らしい生活」が実現できるために必要な、ICFの概念理解と生活に焦点を当てた介護のあり方について思考できる知識及びアセスメント能力が習得できる。</p> <p>②障害の知識及び具体的な症状とその背景や原因を知り、自立に向けてどのような介護が望まれているのか、について学ぶ。</p> <p>③家族へのレスパイトケアなどの基本的視点について考える。</p> <p>④障害者の日常生活に及ぼす影響を考慮し、残存能力・潜在能力の活用などを含め、生活支援技術と関連できる。</p> <p>⑤障害の種類や特性に応じた、医療費との連携の必要性について理解できる。</p>
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新 介護福祉士養成講座 13『障害の理解』第4版」 中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	介護の実践の際、根拠となるものをすぐに思い出せるように学習しましょう。